

ネット時代に向けた 国際放送の在り方

坂村 健

東京大学大学院情報学環教授

ユビキタス情報社会基盤研究センター長

①

現状の分析

フランスのホテルにて

最近フランスを転々としていくつものホテルで
つねに NHK World が視聴できた

そこで感じたこと

NHK World は 何を**を**目指しているのか

誰の立場で
誰に対して

何を届けようとしているのか?

本気でCNNやBBCと張り合うつもりなのか?

誰の立場で？

海外に出れば常に「主語」が求められる

「日本人」として

「日本」の公式見解として

NHK本局として

海外のNHK支局として

日本を見る海外の人の視点として

誰に対して？

限られたチャンネルだからこそメリハリが必要

長期在留日本人／短期出張日本人、

ファミリー／ビジネス

一般外国人／外国の日本ファン

何を届ける？

ニュース？

日本の国内ニュース、世界のニュース

ドキュメンタリー？

自然、科学技術、歴史、文化

日本紹介？

風景、文化、日本語教育

エンタテインメント？

JSTVとの住み分けか、歌番組やドラマはNHK Worldではほとんど見かけないが…

海外でNHK Worldを視聴しての感想

■ NHK Worldが英語で流す世界の天気予報に何の意味が？

- 本質的に差のないニュースを英語で聞くなればCNNかBBCを選ぶ
- アルジャジーラやCCTVは、どう報道するかについて興味もあるが
- 日本の台風のニュースを英語で流すのには意味があるが.....

■ CNNと National Geographic が混在している感じで、台風の状況を知りたくて点けても、ずっとドキュメンタリー

- ドキュメンタリーが始まると長くて、ちょうど台風のことが知りたかったのにあきらめた
- それでいて狙って付けるわけではないし、出張先では見られる時間も限られるので、ドキュメンタリーがおもしろそうでも途中からで不満

■ 少数の同じニュースが何度も流れる印象

- 英語のニュースを作るのの大変さはわかるが、リアルタイム感がない

■ ティッカーの利用も少ないのでよけいニュースが少ない印象

- CNNもBBC World NEWSもCCTVもティッカーで大量のニュースヘッドラインを流している
- ニュースヘッドラインの文も短くわかりにくい印象

■ 英語に気を使い過ぎでライブ感ゼロ、不自然

- ニュースだけでなく、ドキュメンタリーや、日本のレポートや文化紹介でも、対談ですら完全に台本通りしゃべっている印象

■ 発言者の日本語に英語アテレコを完全オーバーライドするのはやめてほしい

- 英語のナレーターの限界で、同じ男声と女声で、感情表現も単調で、英語としては正しいのかもしれないが、画一的でインタビューとかですらまったく心が伝わらない
- 政治家の発言など特にそうだがエビデンスも重要で、インタビューされた発言者の意図と違った翻訳が指摘できるようにするためにも、日本人以外でも、英語以外の元の音声は完全に残すべき

英語ニュースでCNN やBBCと張り合えるか

そもそも英語が流暢に喋れる
日系人はどうしてもソースが限られる

例えば香港からの 「雨傘革命」のレポート

NHK Chinaからのレポートでも英語優先？

中国語でインタビューできる記者の方が重要なのではないか
中国語ができて、ちゃんとした英語も喋れる日本人はレアでは？

「ちゃんとした英語」のために 全てが二重投資に

NHKでは、記者、レポーター、ディレクター、キャスター、台本のすべてが、英語用にもう一式必要

CNNやBBCなら、母国語が英語だから
一線の記者がそのままレポートすればいいし
それがそのまま自国民向けになる

同じ問題を抱える CCTV Newsは 現地リソースを利用

CCTV Africa からのニュースは
レポーターもキャスターも現地系

出来る限り日系スタッフを出し
日本発と見せたいNHK Worldと反対の方法論

NHKがライバルと すべきはCCTVか

国際ニュースを英語でというメディアとしては
CNNやBBC World NEWSに太刀打ち出来ない

アジア発のTVのファーストチョイスなら
可能性はある



そのときライバルになるのはCCTV

現状は圧倒的に不利

フランスの田舎のホテルでさえ
CCTVは3波も入っている

NHK World はそもそも頑張っても1波しかない
NHK World もどこでも入っていたので営業頑張ったとは思いますが

フランスで見たCCTV

■ CCTV Français

- 中国のドラマ、歌謡番組にフランス語の字幕をつけたもの
- 中国の紹介番組 (フランス語ナレーション)
- フランス人向け中国語講座

■ CCTV News

- ほとんどどCNNやBBC WORLDのフォーマット
- 完全に英語で、キャスターやレポーターも多くが非アジア人
- 中国人へのインタビューは音声はそのまま英語の字幕

■ CCTV Documentary

- 海外向けに作ったものかどうかわからないが、自然や歴史や文化に関するドキュメンタリーで、ナレーションは英語
- 中国人へのインタビューはやはりそのまま英語の字幕
- 中国青年の海外自転車一人旅のGoPro撮影のような番組も

フランス各地のホテルで見たCCTV

- 多いのはFrançais、News、Documentaryの3波構成
 - CCTV4が加わって4波構成になることはあるが、これは「中文国際」で音声も字幕も中文の完全な自国民向け
 - 日本のJSTVに対応し、CCTV4が入っているホテルではJSTVも入っていた
- 1波のホテルもあったがそのときに残るのはNews

最重要はCCCTV Newsとどう戦うか

圧倒的に不利なのだから
キレイ事を言っていない状況ではない



アジア発ニュースのライバルとして相手の不利
なところを見つけどう戦うか考えるべき

②

これから**の**NHK World

ネット時代を前提に

ネット時代を前提に

同時・多様性のために多くのチャンネルを
確保しないといけないと考えるのは古い



ネットとの併用を前提に
それぞれの良さを活かしたメリハリある構成に

放送とネット、それぞれの良さ

■ 放送はプッシュ、ネットはプル

- ユーザーにとって、放送はチャンネルを選ぶとあとは流れてくるものを受け入れるだけだが、ネットは能動的にコンテンツを探せる

■ 放送はフロー、ネットはストック

- 放送はその時流れているものが流れ去るが、ネットはストックされているものにいつでもアクセスできる

■ 放送はシングル、ネットはマルチ

- 放送は一对多、ネットは多対多、さらに字幕などマルチなデータをいくらでも複線化して追加できる

ネット時代を前提とした提言

■ NHK World は完全なニュースチャンネルに

- ドキュメンタリー系はネットのストックに回す

■ BSニュース等の自国向け定時ニュースを音声は日本語のまま「完全な英語字幕」を付けて 随時放送する

- 翻訳、字幕付け、チェックの終わったものから随時放送



■ それにより...

- 自国民向け放送をそのままというCNNと同じスタートラインに立てる

NHKの日本語ニュース
の質が**高**く
公平だからこそできること

「完全な英語字幕」の 意義

翻訳しやすい英語からなら
ネット内で相当の精度での自動翻訳が可能



何十カ国もの言語での配信と同じことを
現実的コストで可能に

ネットでの翻訳結果は 受け取る側の自己責任

人的翻訳ではNHKが内容に責任を持つことがもとめられ
一言語増やすだけでも大量の追加リソースが必要になる



ネットの自動翻訳によりソースと翻訳の責任分界

オリジナルの英語データにはNHKが責任を持ちそれが
容易にアクセス可能なら、最後の内容保証はそちら
受け取る側が複数の翻訳エンジンを通してもいい

我が国でもATRなどで自動翻訳研究については大量の蓄積があり
総務省として使いやすいリアルタイム字幕翻訳サイトを作ってもいい

オープンデータとして

放送に合わせ字幕データをネットでストリーム配信

機械可読化しオープン化し
ネットの世界から利用しやすくする



それを利用する多くのアプリが生まれる

もちろんオフィシャルアプリの配布も考えられるが…

オープンデータとすれば各国語への翻訳の質について責任分界できる

どんな形でも、とにかく 利用されることが実質的 ファーストチョイスへの道

すべてのニュース音声
文字データ化されてオープン化されれば



まず、ツイッターの高度化に使える
あとからのニュースの検索も容易に
メディア変換も可能で、
非英語国の世界各国の障害者にも福音に

さらに将来の日本のためのデータ資産として

元の日本語発話と対応して日々生まれる
「完全な英語字幕」データのコーパス



日英自動翻訳の蓄積的に精度を上げる
貴重なビッグデータとして非常に有用

現行のドキュメンタリー系コンテンツへの提言

■ 基本ネット配信とする

- 無料以外の選択肢もあり、無料ならYouTube配信でもいい

■ 日本向けの海外向けに適切な番組をセレクトし、「完全な英語字幕」データをつけてストック

- これもネットの自動翻訳機能を最大限に活かすが、引き合いが多いコンテンツには人間による翻訳字幕を複線化して蓄積していく
- ボランティアによる翻訳もそれと明記した上で認め、奨励する

■ 他にネット向けの数分のショートコンテンツを量産

- 日本向けだけでは限界があるので、海外のネット対応TVのチームと契約し、海外の視点で数分程度の日本紹介のコンテンツを量産
- 国内でもニコニコ動画系ですでにそういうチームが育っている

■ NHK World内で、二ニュースの合間に、それらのコンテンツの「さわり」をCM的に流し、興味があったら、プルしてもらえようように促す

- ネット対応テレビなら、ボタンひとつで、スマホでも専用アプリなら、時間同期でボタンひとつで、興味をもったら本編を見てもらえる
- 後からでもさっき見たCMのという感じで簡単に選択できるように